

2022年1月8日 朝倉幹晴、船橋市議会報告 & ご意見を伺いする会

- あけましておめでとうございます。
- ↓1月7日雪だるま@船橋市藤原



会場とZOOMの同時開催

・会場の顔を合わせた討論のよさを保障するため、ZOOM参加者には以下のご配慮をお願いします。

★最初の朝倉報告部分(30分)は共通

★後半の質疑・討論部分

①会場発言が一段落した後を、ZOOM参加者からの発言時間とする。

②希望しない会場

前回の報告会(2021年12月4日)以降 の取り組み(@議会の会議1)

12月9日(木)市議会建設委員会

「海老川上流地区開発に関する説明会要望」
陳情、小数否決(賛成4・反対6)

小数意見留保(21日本会議で発言)

12月21日(火)

最終日採決前に提案・討論

「子育て世帯、臨時特別給付金年内(10万円)

一括支給議案提案・討論・採決(可決)

所得制限撤廃に関する議論などあり

【船橋市】子育て世帯への臨時特別給付金について（12月15日子育て支援部長より報告）（その後、21日市議会において市長からの追加議案「年内10万円の一括給付」が全会一致可決され、年内一括給付への修正が決定しました）



2021年12月15日 船橋市議 朝倉幹晴（12月17日20時追記（本文の最後に加筆））（20日12時再加筆）

21日12時加筆

この後、21日に市長より市議会に「10万円年内一括支給」の補正予算が提出、10時40分に全会一致で可決されました。15日時点の下記方針は「年度内」でなく「年内」と修正されたとお考えください。

（21日の市議会質疑の中では、所得制限の撤廃、DV被害者への配慮などの声に基づく質疑がなされました。）

子育て支援部長より、以下のように、令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金について、「5万円相当のクーポンを基本とした給付事業」に関しては、船橋市は現金給付で、年度内支給をめざしているとの報告をいただきました。

“

令和3年12月15日

議員各位

子育て支援部長

12月21日、市議会広報委員会 (私は副委員長)

- ①12月議会のことをまとめた市議会だよりは
2022年1月31日より全戸配布
- ②市立船橋高校・東葉高校教員との懇談予定
(1月)

議会関連の取り組み

2021年12月 船橋市・ PayPay20%還元 の効果と評価は？



1月臨時議会予定

2022年1月6日(木)
議会運営委員会 &
予算決算委員会理事会
(住民税非課税世帯に対
する臨時特別給付事業
について、1月12・13日に
臨時議会開催)



去年の今日（2021年1月8日）の取り組み

今年の成人式は船橋アリーナで会場実施（同時オンライン）

過去のこの日

1年前



朝倉 幹晴さんは池沢 美千世さんと原木中山駅にいます。

2021年1月8日・千葉県 船橋市・📍

...

2020年1月8日(金)。成人式会場開催中止となった成人の日。「船橋の新成人の親有志の会」で、せめてものお祝いの気持ちを伝えるポスター作りしました。池沢みちよ市議と一緒に市内18箇所の「みんなの掲示板」に掲示中。まずは原木中山駅前。



宮下 毅、Mayumi Katayama、他52人

コメント4件 シェア3件

去年の代替イベント（明日2022年1月9日）

「21歳の集い」@船橋アリーナ

市民活動(子ども食堂 & 学習サポート)

2021年12月23日

@塚田公民館、この机と椅子がすべて子どもたちで埋まりました。参加者約20人



学習サポート@各公民館予定

学習ボランティア・全県読書ネットワーク草津
予約一覧

予約番号	利用日	時間	館	施設	利用目的
2021134727	2022年1月12日 水曜日	12時00分～18時00分	塚田公民館	第2集会室	学習・講義
2021155104	2022年1月23日 日曜日	12時00分～18時00分	坪井公民館	第3集会室	学習・講義
2021163401	2022年1月24日 月曜日	18時00分～21時00分	中央公民館	第5集会室	学習・講義
2021171362	2022年1月26日 水曜日	18時00分～21時00分	葛飾公民館	第3集会室	学習・講義
2021163419	2022年2月2日 水曜日	12時00分～18時00分	塚田公民館	音楽室	学習・講義
2021171359	2022年2月7日 月曜日	15時00分～21時00分	東部公民館	第1集会室	学習・講義
2021171363	2022年2月9日 水曜日	18時00分～21時00分	習志野台公民館	第1集会室	学習・講義
2021171343	2022年3月15日 火曜日	18時00分～21時00分	二和公民館	第1集会室	学習・講義

12月30日、コロナ生活相談会



1月1日、マンション自治会 初日の出を見る会



12月25日、あさくらだより新年号完成

無党派市議会議員 朝倉みきはる
(駿台予備学校生物科講師)

**理系の視点で
船橋市政に提言!!**

議会・諸活動報告書
あさくらだより



info@asakura.chiba.jp <http://asakura.chiba.jp> 102号(2022年1月発行)

2021年11月26日船橋市議会質疑報告

「新生活」をはじめよう



この2年、私たちの生活は大きく変化しました。これから始まる「新生活」では、リアルな場とオンラインの場の関係をバランスよく調整する必要があります。「新生活」では、**勤務先でなく船橋市内にいる時間が増え**、市内で過ごす買物・散歩・軽運動などがより大切な時間となってきます。このような「新生活」に関して市行政がとるべき施策に関し、私は市に提言しました。(→2・3面)

歩いて暮らせる街づくり

船橋市の人口(世帯数)は、2000年→2020年の20年間に55万人(22万世帯)から64万人(31万世帯)へ増加しました。また、**車を所有しない世帯の比率は17%から34%へ増加**し、10万世帯を超えました(10.4万世帯)。市内では車なしでも生活できるよう、歩く範囲で生活のニーズを満たせる街づくり、歩いて楽しい街づくりが必要です。そのために歩道の段差解消などバリアフリー化や歩行者の安全対策に力を入れるべきです。また環境対策(CO₂排出削減対策)としても重要な車使用削減につながる**カーシェアリングの推進**など、市民の生活・福祉と環境を守る施策について市に提言しました。(→4・5面)

船橋市保健所のPCR検査内容の変遷

～日本分子生物学会第44回年会フォーラムで発表～

船橋市保健所PCR検査、変異株検査の経緯と市議会の質疑について発表しました。(→6面)

最新情報を朝倉幹晴公式サイトで速報中 (YouTubeチャンネルもあります)

- 市発表・市議会速報
- コロナ・ワクチン情報
- 街づくり案情報
- 千葉県公立高校入試数学・大学入試共通テスト数学・生物解答解説
- 市の教育施策(タブレット活用授業、不登校対策、心のケアなど)



「新生活」をはじめよう

質疑動画など→



私たちの生活はこの2年で、様々な部分で大きく変わりました。いくつか例を出します。

一番変わったのは大学生活ではないでしょうか？講義やサークル活動などでキャンパスに毎日集う生活から、オンライン授業主体でキャンパスには時々しか行かない生活が2年弱続きました。在学4年中の半分2年です。大学生活は、「キャンパスでの授業・サークル、夜はバイト、3年生以上は時々飲み会」から「オンライン授業が増え、週何回かのみキャンパスで対面授業、夜はバイト、飲み会はなし」となりました。船橋市民で市外の首都圏の大学などに通う大学生は、在宅し船橋市にいる時間が長くなり、犬の散歩をしたり、新たに保護猫を飼いはじめた大学生もいます。

映画もこれまでは友達どうしやデートで映画館に行くのが基本でしたが、今は自宅のパソコンでNetflixやアマゾンプライム・ビデオでみるのが多くなりました。幼児の水遊びも、プールに行く機会は減り、自宅にスペースがある世帯は大きなビニールプールで泳がせ、スペースがない家庭はあきらめているとの声も届いています。



病院や福祉施設での面会ができなくなったことも増えました。

今後、オンラインの増加で、勤務先でなく船橋市内にいる時間が増え、市内で過ごす買物・散歩・軽運動などがより大切な時間となる「新生活」に移行していくため、市ができることを考えていくためにこの2年間の変化や取り組みを伺います。

質疑1（病院でのオンライン面会）

病院や施設で、家族との面会が制限され辛かったとの話をよく伺います。どうしても面会を制限せざるを得ない場合に向け、オンライン面会などの対策を進めるべきです。船橋市立医療センターでの取り組みは？



→（市答弁要旨）2020年3月から家族以外の面会を禁止し、以降も感染状況に合わせて面会の制限を行ってきた。このような中、入院患者さんをご家族とオンライン面会ができるように、病棟ラウンジ等に無料Wi-Fi環境を整備し、2021年10月からご利用できるようにした。



朝倉 幹晴 議員

質疑2（公民館利用率）公民館利用の変化は？大学生の利用はあるのでしょうか？

→（市答弁要旨）10月で比較すると、利用率はコロナ前（2019年10月）の利用率57%から、2021年10月は36%に低下している。利用が増えるようにしていきたい。公民館の自習スペースは大学生も一部利用しているが、まだ利用が少ないので広報していきたい。

質疑3（町会・自治会活動）

町会・自治会活動は、この2年間を経てどのようになっているのでしょうか？

→（市答弁要旨）お祭りなどの人が集まるイベントを中止し、様々な活動を制限しているが、パトロール活動やマスク配布などの取り組みをされた町会・自治会もある。スマホやPCを活用して連絡手段や情報提供ツールとしたり、ICT機器を用いて会議を効率的に行ったりするなどの取り組みを始めている例もある。

質疑4（新生活をはじめよう）

この2年間、緊急事態宣言期間以外には、議会報告配布などで、船橋市内の各地を歩き続け実感したことがあります。コロナ自粛のきつい中ですが、市民の方々はご自宅で過ごされ、また近隣への散歩・公園・買い物の機会を増やされる中で新しい生活を模索されていると感じます。

一つ例を出します。この数年間ハロウィンブームです。船橋市内で子育て世代が多い街では、9月・10月になると、多くの家の玄関先にパンプキン（かぼちゃ）がかけられます。もし、自宅内・家族内でのみで楽しみたいだけならば、玄関先に通行人や郵便や宅急便配達の方が見られるように飾る必要はないはずです。私は、数多くのパンプキンを見かける中で、同じ地域の中でゆるやかにつながりあっていきたいとの子育て世代の想いを感じました。

松戸市長は、2021年6月の市長選で、「日本一元気な船橋づくり 8つの指針」を掲げました。その7に「心豊かにすこせる魅力あるまちづくりで賑わいを」とあります。コロナの状況の中、どのようなイメージでこの公約を発し、どのような賑わいを創り出そうとしているのか？2022年以降の市民の「新生活」のあり方についてお考えや方針をお聞かせください。

→（市長答弁要旨）賑わいは、自分の街に活気があって、訪れる人も楽しく過ごせるエネルギーギッシュな状況が続いていることと考えている。コロナの状況に関わらず、常に賑わいは都市の発展に欠かせない要素と考えている。コロナをへて、文化・スポーツ、農漁業、商業、工業の活気が継続できるようにしていきたい。コロナの中、意見交換の場は少なかった中、オンラインで、福祉関係や姉妹都市のヘイワード市との会合をした。もちろん直にお会いするのが基本だと思っているが、オンラインの手法も留意していく中で、船橋がにぎやかな街になれるように目指していきたい。



歩いて暮らせる街づくり

質疑動画など



質疑1（歩行者の安全対策）

1999年に閣議決定された「歩いて暮らせる街づくり」には以下のように書かれています。

「通常の生活者が暮らしに必要な用を足せる施設が混在する街、自宅から街中まで連続したバリアフリー空間が確保された夜間も明るく安全な歩行者、自転車中心の街、幅広い世代の住民からなる街、住民主役の持続性のある街づくりが重要となる。」



国のこの方針は、その後20年経ても残念ながら十分に実現していないと感じます。市民は、この2年、船橋市の自宅と自宅周辺で暮らす時間が増え、散歩・買い物・軽運動の時、近くに出かけるのは歩くことが多くなっています。歩行者の安全対策を徹底して進めるべきです。市はどのように取り組まれてきたのでしょうか？

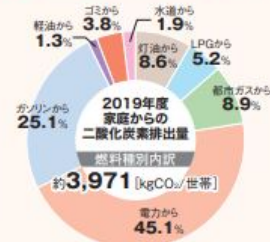
→（市答弁要旨）市では、2002年に「船橋市移動円滑化基本構想」、2004年に「船橋市交通バリアフリー道路特定事業計画」を策定し、歩道の段差解消などを進めてきた。

2005年からは、「あんしん歩行エリア形成事業計画」で、ハンプの設置や路面のカラー舗装、スムーズ横断歩道などの整備を行ってきた。2012年から生活道路において、歩行者等の安全のため、区域を定めて車の時速30キロの速度規制をするゾーン30の整備を、現在までで26地区で行ってきた。

また、歩道や交通広場など歩行者の交通量が多く設置が可能な場所にベンチやスツールと呼ばれる一人がけのイスを設置してきた。今後は、ゾーン30の区域内道路に凹凸をつけて車両の走行速度を抑制する物理的な施設整備を加えた「ゾーン30プラス」を実施し、だれもが安全安心に通行できる歩行環境の整備を進め、居心地が良く歩きたいような歩行環境の創出を目指していく。

質疑2（車からのCO₂排出削減）

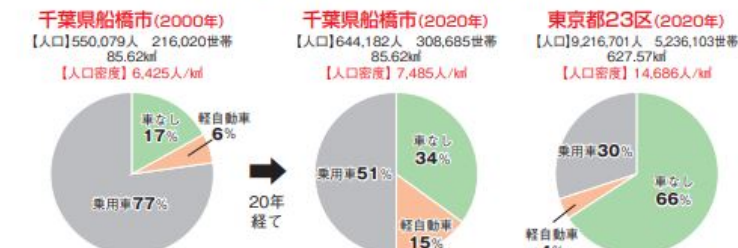
CO₂排出削減は産業分野でも進めるべきですが、今回は市民生活に近い家庭分野について質疑します。2019年度の日本の家庭からCO₂排出原因の1位は、電力から45.1%で、2位はガソリンと軽油あわせて車からの26.4%です。電力の効率化や使用減とともに、車からのCO₂削減も目指すべきです。



【出典】温室効果ガスインベントリオフィス（全国地球温暖化防止活動推進センターのサイトより）

下図に人口密度と車なし世帯、軽自動車・乗用車所有世帯の比率を示しました。東京23区は人口密度14,686人/km²、車なし世帯が全体の2/3の66%（乗用車所有30%、軽自動車所有4%）となっています。船橋市は、2000年は、人口密度6,425人/km²で、車なし世帯17%（乗用車所有77%、軽自動車所有6%）でしたが、20年経て2020年には人口密度は7,485人/km²に増え、車なし世帯比率は34%に倍増、全30.7万世帯のうち車なし世帯は10.4万世帯に達し、全世帯の1/3を超えました（乗用車所有51%、軽自動車所有15%）。20年間で17%→34%なので毎年約1%増で、車なし生活が標準となっている東京23区の状況に近づくつつあります。私自身も車をもたず歩きと自転車で生活しています。

車なし、乗用車所有、軽自動車所有世帯の比率



注) ①特殊車両含む業務用除き自家用に限った ②バイク除く ③軽自動車・乗用車の両方所有の可能性もあるが、重ならないものとして考えた
④統計データは各年4月1日(3月31日)の使用を基本としたが見当たらない場合は1月1日、10月1日、12月31日のものを使用した

もちろん、ご自宅が駅やバス停から遠い方、仕事・子育て・生活の必要上で車を所有せざるを得ない方、車が大好きな方の車の所有や使用は尊重すべきです。

同時に、家計出費の節約、健康増進、CO₂排出削減などを考えて車を手放す選択をする市民の生活も市はサポートすべきでしょう。車を所有しなくても、カーシェアリングなどで必要な時だけ使用する方向を推進すべきです。また、鉄道駅を基点としたレンタサイクル事業を活用していくと市内で移動も楽になります。免許返上の高齢者に対する支援施策を、環境面も考え全世代に広げたり、バス・タクシーをしやすいとする施策をすべきと思いますが、いかがでしょうか？

→（市答弁要旨）車両の所有率や使用の機会を減らすことは、化石燃料の使用を減らすことに繋がり、地球温暖化対策において有効と考える。国は「第6次エネルギー基本計画」において、電動車の普及に向け、充電等のインフラの整備と併せて、新車販売で、乗用車については、2035年までに電動車100%を目指すとしている。議員ご提案の車両を必要な時だけ使用するカーシェアリング等の推進については、国の動向、社会環境の変化を踏まえ総合的な視点での地球温暖化対策として検討していく。

船橋市保健所のPCR検査内容の変遷

～日本分子生物学会第44回年会フォーラムで発表～



12月2日にパシフィコ横浜にて開催された日本分子生物学会第44回年会のフォーラム「分子生物学の科学コミュニケーション」にて、田野尻哲郎さん（大阪大学）、井本由紀さん（慶應義塾大学）、並木英子さん（国際基督教大学）、箕浦よはなさん（一橋大学）とともに発表いたしました。



会場とZOOM(オンライン)でのハイブリッド開催

私の演題は「船橋市保健所での新型コロナウイルスPCR・変異株検査の変遷」です。

【発表要旨】

船橋市保健所での新型コロナウイルスPCR検査、変異株（N501Y変異、 α 株等）のPCR検査の開始は、以下のよう



船橋市保健所のPCR装置

PCR検査開始	千葉市	2020年1月29日	船橋市	3月11日
変異株(N501Y変異、 α 株等)検査開始	千葉市	2021年2月16日	船橋市	4月11日

2020年2月と2021年2月に、それぞれの開始の遅れを市議会で指摘し実施を求めました。その質疑を通じ、国（厚生労働省）が県や千葉市など政令指定都市に配布している検査に必要な試薬等（プライマー・陽性コントロール等）を、船橋市など中核市には配布していない問題点が明らかになりました。試薬等の提供を強く求め、配布されるようになり検査が開始できました。更に2021年5月12日には船橋市保健所が船橋市衛生試験所として、地方衛生研究所全国協議会への加入が認められ、試薬や情報提供の格差がなくなりました。そして、その後のL452R変異（デルタ株等）のPCR検査については、船橋市は千葉市と同日（2021年6月11日）に検査を開始することができました。ただ、まだ他の中核市保健所全体の協議会加入が認められたわけではありません。国（厚生労働省）に対して、PCR検査能力等を十分に備えた中核市等の保健所に試薬や情報を提供するように求めています。

（オミクロン株のPCR検査開始の検討を2021年12月現在依頼中）

縄文海進から考える船橋市の地理と防災

縄文時代は、今より平均気温が1～2℃高く海岸線が今の内陸まで入りこんでいました。図は1万年前の船橋駅周辺の地形ですが、6000年前には2つの谷にそって海岸線は更に入りこみました。このように海岸線が内陸まで入り込んだことを縄文海進といいます。縄文海進は、船橋の地理（高低差）の形成や地名の歴史を知り、防災や地球温暖化の影響を考えるヒントにもなります。飛ノ台史跡公園博物館での1回だけの開催にとどめず、縄文海進の常設展示を行うべきです。（11月26日質疑）。



飛ノ台史跡公園博物館企画展パンフより



詳細は→

議員連盟報告&その他の活動報告(2021年)

議員連盟としての活動

●船橋市動物愛護推進議員連盟

「船橋市動物の愛護及び管理に関する条例」に関し議論しました。詳細は→



●船橋市私立幼稚園教育推進議員連盟

子育て世代が働く時間などに応じて、保育園や幼稚園を選ぶ選択肢を広げる方向について議論しました。先生方とともに市長に要望書を提出しました。



●船橋市LGBT・性の多様性を考える議員連盟

4年間の働きかけの結果、2021年12月に、パートナーシップ宣誓制度を実現することができました。今後も運用を見届けます。

●大学生の議員インターンシップ実施中

議員の活動を一緒に体験していただく、地方自治のことを学ぶ「議員インターンシップ」を、大学が休みの時期(2・3月と8・9月)に集中的に受け入れるとともに、不定期・短期の受け入れもしています。

ご連絡ください。



船橋市役所の仕事の聴き取り・調査



コミュニティーカフェ「ひなたぼっこ」の見学と聴き取り

(2020年2月の様子)

●医学部受験生向けに、医療・社会を考える連続講演会を実施し次世代を育てています。

講演者(敬称略)

小澤竹俊(在宅緩和ケア医、NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演)

本田宏(NPO法人医療制度研究会副理事長、医師) 田野尻哲郎(大阪大学・哲学者)

橋迫瑞穂(立教大学、社会学者、著書「妊娠・出産をめぐるスピリチュアリティ」など)

松井秀文(小児がん支援の認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク理事長)

長谷川智華(東邦大学医学部法医学教室)

池田ともこ(産業行政保健研究所、保健師) 坂部昌明(明治国際医療大学、鍼灸師)

小川康(森のくすり塾、チベット医、薬剤師) 石渡ゆきこ(港区議会議員、弁護士)



講演会の様子@市谷
(小澤竹俊さん)

アマゾンなどにて
取り扱っています。



拙著案内



船橋市議会報告・ご意見をお聞きする会

毎月第一土曜日10時～12時 場所：船橋市勤労市民センター 主催：朝倉塾

議会で話題になっていること、取り組んでいることを私からご報告するとともに、皆様のご意見・ご要望をお聞きする会です。飛び入り参加・ZOOMでの参加（ミーティングIDは右QRコードに掲載）も大歓迎。



1月のみ第2土曜日に実施。市の衛生基準を守って実施。検温・マスク着用にご協力ください。

市政相談（勉強、受験相談）を随時受け付けています

●勉強ひろば（自習質問教室）を公民館など各地で開催

ボランティアスタッフの協力を得ながら、小中高生、受験生の自習を見守り、質問に答える勉強ひろば（自習質問教室）を中央、塚田、葛飾、坪井、習志野台、東部、二和公民館、青少年会館（南船橋）などで実施しています。またZOOMでの勉強ひろばも実施しています。参加希望の小中高生、受験生（の保護者）の方、ご連絡ください。また教える側のボランティアスタッフも募集中です。



今後の開催予定&詳細↑

フナバシ 2784ナンプレ

3	4		1		8		2	9
		8	3		9	4		7
	7			4		1	8	
1	5			2				4
	6		4		7		9	
		4		8			6	1
	2	1	6	9				8
4		7		5				
	8	6	7		1			2

解き方解説&答➡



発行者 朝倉幹晴

〒273-0044 船橋市行田2-6-9-411

公式サイト <http://asakura.chiba.jp>

携帯 090-4075-5967

メール info@asakura.chiba.jp



朝倉幹晴
公式サイト

@asakuramikiharu

YouTube
チャンネル

- 1988年 東京大学農学部卒
- 89年 駿台予備学校生物科講師
- 95年 船橋に転居（文京区より）
- 97年 安歩権を掲げ、道・駅改善の市民運動スタート
- 99年 船橋市議（無党派）当選（現在5期目）以降、徒歩と自転車で活動中

- ・愛知県豊橋市生まれ
- ・日本分子生物学会会員、日本癌学会会員

「休み時間の生物学」（講談社）
「病気とくすりの基礎知識」（講談社サイエンティフィク）
著書 「円」「三角形」「図形の証明」「ウイルスと遺伝子」
「ナイチンゲール生誕200年ーその執念と夢」

3月議会(2月15日開会)に向けた展望

3月議会(2月15日開会)に向けた展望(口頭)
2021年末自転車屋さんでの出来事

これから質疑応答と、ご意見・ご要望を含む
自由テーマでの討論の時間となります。活発に
ご意見ください。